



Lecture series

<第3回>

認知発達ロボティクスの紹介と 発達ロボットの実現に向けて

平成26年7月17日(木) 15:00~16:15

京都大学附属図書館1階
ラーニング・commons

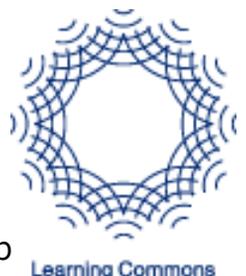
(京都大学 学部生・院生対象)



西出 俊 助教
(京都大学白眉センター)



問合せ先：京都大学附属図書館 参考調査掛
TEL:075-753-2636 / e-mail:ref@kulib.kyoto-u.ac.jp

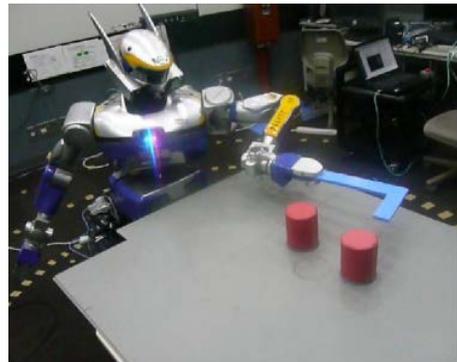


今回のテーマ

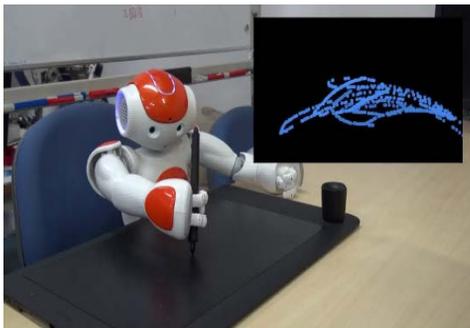
近年、ロボットの研究は目覚ましく進歩しており、高度な行動を生成することが可能になってきています。一方で、人間のように経験から発達するロボットの実現は非常に困難な課題であり、現在のロボットの多くは人間が作り込んだ行動を生成しています。この課題に対するアプローチとして、私の研究では人間の発達過程をもとにロボットの知覚・行動生成機構を構築し、ロボットの経験から発達する枠組みを作ること注目しています。このように人間の発達をもとにロボットを作ること目標としている研究分野を認知発達ロボティクスと呼びます。本講演では私がこれまで行ってきた研究のうち、次の三つを紹介します。



ロボットの行動に基づく物体知覚



ロボットの道具身体化



模倣行為によるロボットの描画発達記録

西出 俊 助教 自己紹介

1981年にアメリカで生まれ、中学入学時に日本に移りました。大学入学後、教育と研究だけではなく、アメリカで培った経験を活かすために国際交流活動にも従事してきました。広い視野を持つために文化の違う人との触れ合いを大切にしています。研究については、人間と同じように自分の経験から知能を発達させていくロボットを作りたいと思っています。幼児がおもちゃ遊びや親との会話・やりとりの中でどのように環境知覚能力や行動を獲得するかということなど、人間の知能の発達過程に興味があります。脳科学・工学・情報学など多分野の研究者との交流を通じ、知能の解明に貢献できる研究をしていきたいと思っています。